

13 大和地区

87 大和町北協和会

歴代会長

| | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 初代 戸村 幸平 (昭和 23 年～昭和 24 年) | 五代 和田 勇吉 (平成 4 年～平成 25 年) |
| 二代 鈴木 大三郎 (昭和 24 年～昭和 36 年) | 六代 木村 勝昭 (平成 25 年～平成 28 年) |
| 三代 山本 不二雄 (昭和 36 年～昭和 40 年) | 七代 西山 篤臣 (平成 28 年～令和 2 年) |
| 四代 尾崎 貞蔵 (昭和 40 年～平成 4 年) | 八代 勝岡 鉦一 (令和 2 年～) |

歴史と現状

昭和 22 年全国の町会の結成が禁止されましたが、その後大和町 300～400 番地(現大和町 2 丁目全域)及び大和町 500～600 番地(現若宮 1 丁目と野方 5 丁目の一部)を包括した「大和町北協和会」が昭和 23 年に発足しました。防犯防災が中心の安全に暮らせる町づくりが活動の中心でした。発足時の町会はずべて大和町の範囲の中を分割した 5 町会だったのです。やがて昭和 39 年の環七通りの開通や、昭和 40 年の町制改正(大和町が 1～4 丁目に分割、環七通りの東側の大和町は野方、妙正寺川の北側の大和町は、若宮、川の南側の若宮は大和町へ)等で、今までなかった 1～4 丁目が決められて、番地の境界線も大きく変化しました。しかし番地の境界は変化しても、町会の境界縄張りはまったく変わらずに昔のとおりで残り、現在もかなり入り組んだものとなっています。現在は町会区域を 11 地区に分割し、更に数個の班に分けた地域密着の絆を保ちつつ、大和町町会連合会との連携も深め、活発な事業活動を展開し、誰もが安心して暮らせる町づくりの課題に、これからも取り組む努力を続けてまいります。

事業活動

| | |
|--------------|--|
| 防 災(田口 数幸) | 広域災害に対する組織編成【防災訓練、防災器具保守管理】 |
| 防 火(木内 勝美) | 防火思想の普及昂揚【防火訓練、軽可搬ポンプ操法大会参加、消火器点検】 |
| 防 犯(久保 興一) | 防犯体制の点検整備、防犯思想の普及【安全パトロール、歳末特別夜警】 |
| 環境整備(岩崎 サヨ子) | ゴミ問題、生活環境の浄化活動【地域ゴミ集積場点検・研修会等】 |
| 交通安全(難波 恵子) | 交通安全運動、交通安全思想の普及【春期・秋期交通安全運動への協力】 |
| 少年育成(杉本 佐知子) | 少年の健全育成の活動【こども縁日、ラジオ体操会協力、入学児童へ祝傘贈呈】 |
| 福 祉(黒武者 キヌ子) | 高齢者・身障者対策、募金活動【敬老祝い品、敬老の集い、日赤活動等】 |
| 文 化(中山 孟子) | 地域文化向上の活動【研修旅行会・新年会・花見会等】 |
| 広 報(丸小 めぐみ) | 町会の目的・事業の徹底を図る広報活動【事業イベント等の告知チラシ制作・配布】 |

会議運営

総会 1 回／年、理事会 1 回／月 その他町会の発展・課題解決に向けだ情報交換会の実施

関連略年表

| | |
|---------|--------------------------|
| 昭和 23 年 | 大和町北協和会設立 八幡幼稚園開設 |
| 昭和 24 年 | 中野区第四中学校校舎落成 |
| 昭和 42 年 | 大和児童館・公園開設、新住居表示実施 |
| 昭和 45 年 | 野方消防署大和出張所移転 (2 丁目 2-15) |
| 昭和 52 年 | 大和地域センターへ改称(旧大和出張所) |
| 昭和 61 年 | 大和地域センター落成(2 丁目 44-6) |
| 昭和 62 年 | 大和町中央通りに改称(旧消防署通り) |
| 平成 17 年 | 妙正寺川大洪水(町内広域冠水) |
| 平成 23 年 | 大和区民活動センター発足 |
| 平成 25 年 | 大和町中央通り拡幅(まちづくりの会発足) |
| 平成 26 年 | 防犯パトロール開始(毎週巡回) |
| 令和 3 年 | 区立明和中学校開校(第四中・第八中統合) |